

応募No.16 『なるほどコンテスト』応募用紙

タイトル	小型耕運機を使用することにより柱状改良後の仕上がりをきれいにする工夫		
会社名		担当者名	
業務	地盤調査 ・ 地盤補強工事 ・ 測量 ・ 建物検査		
分野	作業効率改善 ・ 安全活動		

活動に至った経緯

柱状改良工事の際、現場の職人は注意をしながら整地をしても、残土に大きな塊が出来てしまう事がありました。そのため、施工後の仕上がりが汚いなどのクレームが起こることがありました。

改善後(工夫した点・苦労した点など)

- ・職人が注意深く整地を行っても大きな塊が残ってしまうため、発生土を攪拌する工夫を考えました。
- ・鋤簾やレーキを使用しても見えない部分に塊が残ることがあります。
- ・小型耕運機を使用することにより地表面をくまなく攪拌できるようになりました。

PRポイント(アピールしたい点や社内の効果など)

- ・整地時に小型の耕運機を使用し、発生残土を攪拌して大きな塊が出来ないようにしました。
- ・作業時間は増えますが、施工後の仕上がりがきれいになりました。

写真

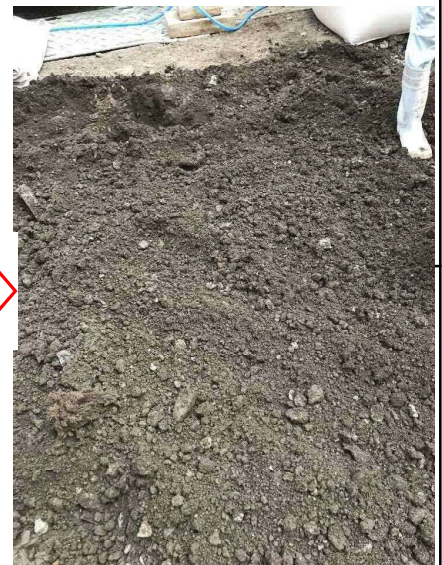
攪拌前



小型耕運機による攪拌中



攪拌後



コスト(活動に取組んだ経費など)

- ・小型耕運機代 約8万円
- ・燃料費
- ・作業費